

220125 五葉山(333m)

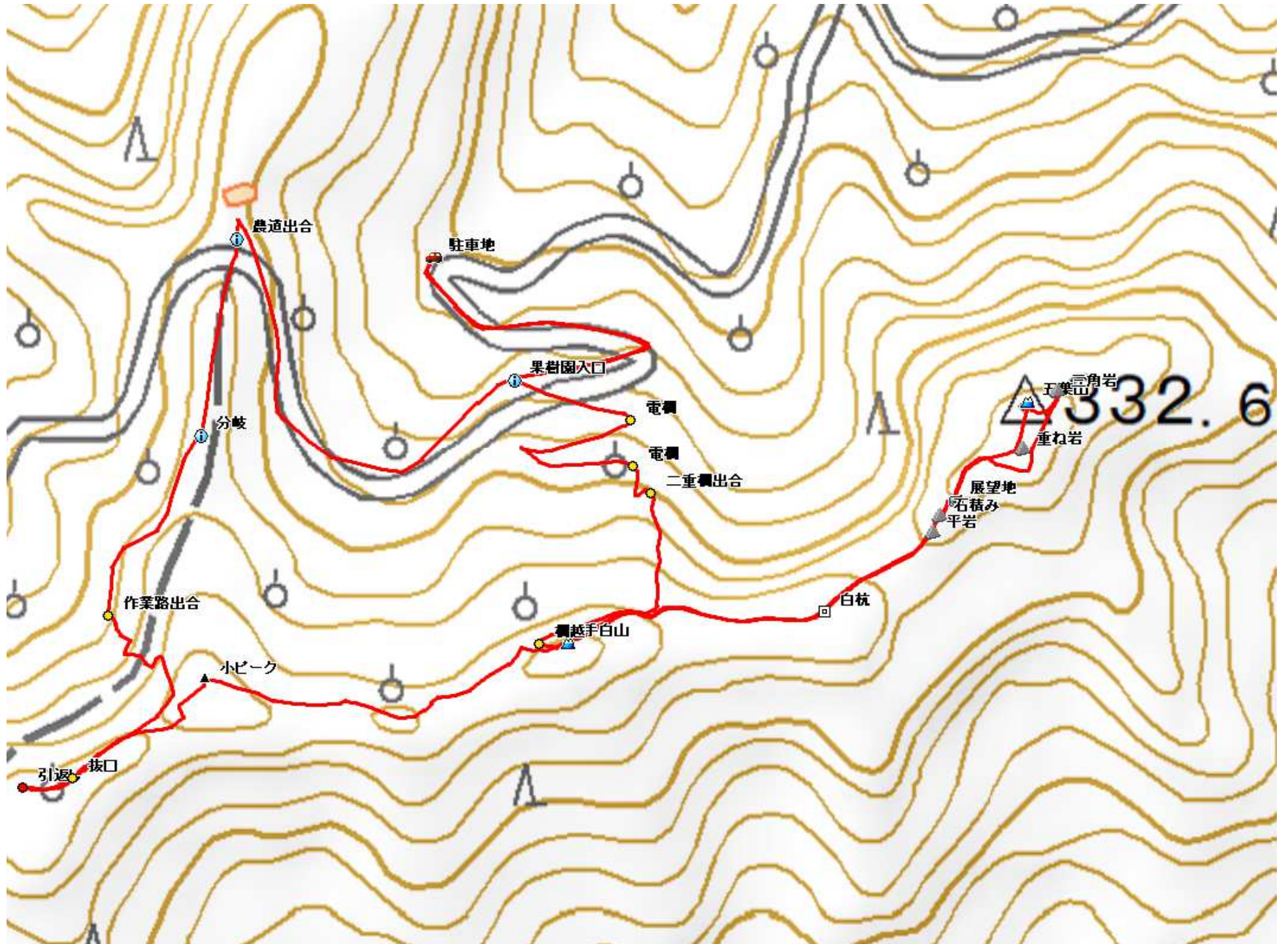
2.4 km 1時間25分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 駐車地
- ↓ 0:05
- 果樹園入口
- ↓ 0:16
- 手白山(340m)
- ↓ 0:14
- 五葉山(333m)
- ↓ 0:16
- 手白山(340m)
- ↓ 0:08
- 小ピーク
- ↓ 0:07
- 引返し
- ↓ 0:09
- 作業路出合
- ↓ 0:03
- 農道出合
- ↓ 0:07
- 駐車地



# 220125五葉山(333m) 詳細図





# 五葉山(333m) 2022.01.25(火)晴れ

駐車地→果樹園入口→手白山(340m)→五葉山(333m)→手白山(340m)→小ピーク→引返し→作業路出合→農道出合→駐車地



うきは市浮羽町流川大生寺傍の農道を南上し果樹園脇の路肩に**駐車**し、南東へ歩き始める。



農道から北にうきは市見を見下ろす。



右カーブする。



右カーブ後、緩やかに上って行く。



**果樹園入口** 此処から果樹園へと進む。



**電柵**を越える。



カキ園を上って行く。



左へ草付き園路を上って行く。



園路が途切れ**電柵**を越え、奥の獣道に入る。



ネットと金網の**二重柵**に出合い、際沿いの上って行く。



尾根筋の**二重柵**の出口を探しながら西へ進む。



運よく倒木に出合い、やっと**柵越**する。



15m程引返すと**手白山(340m)**の山名板を見る。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



足元には石積み跡の様な地形が見られる。





南側がヒノキ・スギの混植林の尾根を東へ向かう。



植林調査のメモ書きを見る。



倒木を交わしながら尾根を東へ向かう。



緩く上り返すと前方にピークが見えた。



弱いピークに白杭を見る。



ヒノキの平坦な尾根筋を行く。



平岩の左を抜ける。



石積み斜面を上る。



上り上がると展望地。



展望地から南東の山並みが望まれる。



平坦尾根を行く。



重ね岩の左を巻く。



東側は一段低い平地となっており曲輪跡かと思われる。





明治27年選点の二等三角点：五葉山(ごはやま)(332.63m)を見る。



傍の枝に山名板が掛かっている。



周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



山頂部東端部の岩。



山頂端部の地形。



平坦部の三角岩。



南東側平坦地を南西へ引返す。



平坦地から見た重ね岩は石積みの構造をしている。



展望地を通過する。



二重柵の角まで戻る。



手白山(340m)を通過する。



柵越を右に見送る。



二重柵沿いに出口を探しながら西へ進む。



前方に小ピークが見えた。





小ピークから緩やかに下って行く。



二重柵の終わり出口が見当たらないので、南西の山並みを垣間見て引返す。



抜口 金網の下部が捲れた開口部から北へ這い出た。



抜口のテープ番号。



二重柵の北側を引返す。



小ピークへの斜面が見えて来た。



雑木斜面を北西へ下る。



作業路に出会い、右へ進む。



作業路上方の様子。



作業路を北へ向かう。



北に筑紫野方面が望まれる。



分岐が見えた。



分岐から五葉山と手白山が垣間見え、作業路が延びているが最後は二重柵で阻まれる。





作業路を北へ緩く下って行く。



農道に出合う。



下って来た作業路を振り返る。



農道を下る。



果樹園入口を通過する。



道なりに農道を下り、**駐車地**に降り着いた。

尾根筋北側には果樹園が広がり、獣害対策としてネットと金網からなる強固な二重柵が果樹園を囲い込むよう設置されている。

北側の何れかから取付いても二重柵に最後は出合う事になる。

抜けるには、強引に突破するか、倒木を乗り越えるか、下部開口部を這い出るか、しかないようだ。

くれぐれも強行突破で柵を壊すことだけは止める事。

①CINの九州低山そうつ記 ②海の風 山の風 の記録を参考にした。